

函館空港と西日本の各空港を結ぶ「乗継割引運賃」を拡充

～奥尻空港発着便にも初めて設定～

2016年1月27日

JALは、「JAL 新・JAPAN PROJECT」の一環として締結した「JAL×北海道 包括連携協定(※1)」に基づき、今般、函館空港と西日本各地を結ぶ「乗継割引運賃」を2016年4月～5月に拡充します。先般、「JAL×ひがし北海道×大分県の広域連携による航空乗継モデル路線」を設定(※2)しましたが、北海道新幹線開業によって、注目度がますます高まっている函館・道南エリアにおいても、航空の利便性や特性を活かし、北海道と新たな観光需要の創出に取り組めます。

※1 2015年12月3日発信JAL広報リリース URL: <http://press.jal.co.jp/ja/release/201512/003578.html>

※2 2015年12月24日発信JAL広報リリース URL: <http://press.jal.co.jp/ja/release/201512/003600.html>

既に、羽田空港または伊丹空港を経由する、西日本の各空港と函館空港発着の「乗継割引運賃」が設定されている路線においては、28日前まで予約・購入するとお得な「先得割引タイプA」の合算運賃と比較して最大11,300円お求めやすくなります(下記運賃例参照)。さらに、これまで「乗継割引運賃」の設定がなかった羽田空港と山口宇部・徳島・高松・高知空港を結ぶ路線を当運賃の設定対象に加えます。

奥尻空港(※3)へは、函館空港経由の乗継便を活用し、羽田空港・伊丹空港を発着する「特別乗継割引」、「乗継割引7」、「乗継割引28」をJALグループとして初めて設定します。運賃は、普通運賃の合算比較で最大56%の割引となります。

同様に、青森空港と西日本の各空港を結ぶ「乗継割引運賃」もお求めやすくなり、青函エリア全体の観光需要の活性化を図ります。

※3 奥尻空港へは函館空港からJALグループの北海道エアシステム(HAC)が1日1便運航しております。

JALは今後も、路線ネットワークを最大限に活用し、乗り継ぎを活用した地域間流動の活性化に貢献できるよう挑戦してまいります。

4月1日～27日(月～木曜日)運賃例

	先得割引タイプA (28日前まで購入可)	乗継割引28 (28日前まで購入可)	運賃例対象便組み合わせ
岡山⇒函館(羽田経由)	28,100円～	17,400円～	JL234/587
高知⇒函館(羽田経由)	28,300円～	18,300円～	JL492/587
福岡⇒函館(羽田経由)	29,900円～	18,600円～	JL308/587

※上記に加え羽田空港の「旅客施設使用料」1区間あたり290円を申し受けます。



<イメージ> 函館五稜郭・春



<イメージ> 奥尻島鍋釣岩

以上